

【市長】

本日の案件は、3 件でございます。

初めに「令和 8 年度（2026 年度）国・道及び関係機関に対する重点要望事項」がまとまりましたので公表いたします。

要望事項につきましては、新たに加えた項目が 1 項目、項目の表題及び内容を変更した項目が 3 項目、内容の追加や変更を行った項目が 1 2 項目、前年と同じ内容の項目が 3 0 項目の合計 4 6 項目でございます。

また、より重要と考える要望項目を『最重点要望事項』として、今年度は、昨年度同様、9 項目を選定しております。

1 つ目が「太平洋沿岸における地域の実情に応じた地震・津波対策を推進するための支援の充実」

2 つ目が「苫小牧駅周辺再整備への支援」

3 つ目が「ＪＲ室蘭線及び日高線の維持存続」

4 つ目が「ＪＲ新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上」

5 つ目が「物流効率化に向けた港湾機能の強化」

6 つ目が「北海道運輸局苫小牧運輸支局（仮称）の設置」

7 つ目が「ゼロカーボンシティの推進に向けた支援の拡充」

8 つ目が「道道への昇格整備（苫小牧厚真通及び苫小牧登別通（仮称））」

9 つ目が「室蘭児童相談所苫小牧分室への一時保護所機能の設置」でございます。

また、新たに要望事項に加えた項目は、重点要望事項の「^ギ ^ガ G I G A スクール構想に関する支援」でございます。

詳しい内容は、配布資料 2 をご参照いただきたいと思います。

【市長】

次に案件 2 「災害時のペット同行避難に関連する協定の締結」に

ついて、ご説明いたします。

本年４月１日付で、ペット同行避難に関連する協定を、３件締結させていただいております。

ペットを家族の一員とみなす社会環境のもとにおきましては、これらの協定締結によりまして、災害時の避難体制がより一層強化されることとなり、この度、深いご理解をいただいた３つの団体の皆様には、心から感謝を申し上げる次第でございます。

詳細につきましては、担当参与から説明いたします。

【市民生活部参与】

それでは、「災害時のペット同行避難に関連する協定の締結」について、ご説明いたします。記者会見資料３をご覧ください。

はじめに経過でございますが、過去の大規模災害では、ペット同行避難について、避難所入所を断られるケースや、車中泊に伴うエコノミークラス症候群で災害関連死が発生しており、国からは、ペット同行避難を推奨する考えが示されております。

これを受けて、本市におきましては、避難所運営マニュアルにペット飼育スペースを盛り込む等の取組を進めておりますが、さらなる対応強化を検討していたところでございます。

次に、協定の内容でございますが、（１）の「一般社団法人 苫小牧地域職業訓練センター運営協会」との協定につきましては、新開町の苫小牧地域職業訓練センターについて、ペット同行避難のための２次避難所として、施設の一部を提供いただくものでございます。

次に、（２）につきましては、市内で訪問介護やシッター、しつけ等ペットのトータルケアを行っている団体「ライラのしっぽ」と、ペット同行避難所の運営に関する協定を締結しております。

さらに、（３）「苫小牧獣医師会」とは、ペット同行避難所等において、ペットの健康管理や怪我の治療などを行っていただける内容で、協定を締結しております。

これらの協定によりまして、災害時におけるペット同行避難が推進される

ものと期待しており、今後につきましても、時代の変化に即した取組を進めて、さらなる地域防災力の向上を図ってまいりたいと考えております。

説明につきましては、以上でございます。

【市長】

次に案件3「令和7年度「選ばれるまち」プロジェクト
こども どもんなか アクション」について、ご説明いたします。

市では「選ばれるまち」の実現に向けて、手段の一つとして年度ごとにテーマを定め、1年を通じて集中的にチャレンジする「まちプロ」を展開することとしております。

今年度は「こども・子育てにやさしい地域づくり」を市民とともに考えるため、「こども どもんなか アクション」を展開し、すべての子どもや子育て中の方々を地域全体で支える機運醸成を目指してまいります。

詳細は担当部長から説明させていただきます。

【健康こども部長】

私から「こども どもんなか アクション」についてご説明いたします。

記者会見資料4の2ページをお願いいたします。

当該事業は、こども・子育てにやさしい地域づくりを目指し、すべての人がこどもや子育て中の方々を応援し、地域全体で支え、今日からできることの実践をコンセプトに、健康こども部・教育部が乳幼児から高校生世代をカバーする主幹部として事業展開するとともに、各部の既存事業とのコラボレーションにより展開することとしております。

3ページをお願いいたします。

イベント事業では、フェイスオフ・トークショー・フィナーレの3事業について、国のこどもまんなか月間中に開催するほか、国が進める企業などの「こどもまんなか応援サポーター」を展開してまいります。

また、健康こども部や教育部の事業のみならず、各部や企業が行うこども関連事業を協賛事業として実施することで、まち全体でこども・子育てを応援す

る意識の醸成につなげてまいりたいと考えています。

4 ページをお願いいたします。

最後に、フェイスオフイベントについて説明いたします。

こども どまんなか アクションの実施を市民へ告げるフェイスオフイベントを、緑ヶ丘公園まつりで行います。

5 月 4 日（日）12 時から緑ヶ丘公園まつりステージにおきまして、市長によるフェイスオフ宣言、ロゴマーク発表、苫小牧市を拠点に活動しているシンガー三味線ユニット「キャンドールキータイズ」のアンバサダー就任及び応援ソング披露ステージのほか、こども向けに「お菓子まき」などを予定しております。

1 年をとおして、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わずすべての人がこどもや子育て中の方々を応援する意識醸成を目指すため、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

【市長】

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。